

■参加について

1 参加形態・申し込み方法

- ・対面（先着順・定員無し）とオンラインでの参加（一部のみ）を準備しております。どちらも事前の申し込みが必要となり、当日の参加申し込みはできません。
- 詳細につきましては、本校ホームページ内「教育研究」>「研究案内」をよくお読みの上、お申し込みください。ホームページ内の情報は随時更新していきますので、ご注意ください。
- ※12月下旬お申し込み開始予定



研究案内の
詳細はこちら

2 会費

5,000 円（対面・オンラインともに）

3 対面でのご参加をご検討の皆様へ

- ・事前にお申し込みいただいていない方の入構はできません。
- ・昼食は構内にて食べていただくことは可能です。（お弁当の販売はございません）
- ・本校内においてオンラインで視聴可能な会場の準備はございませんのでご注意ください。

4 オンラインでご参加をご検討の皆様へ

- ・今回は対面を中心に開催いたします。オンライン枠として、両日ともに数本を予定してございます。学習日程表の「オンライン」「対面・オンライン」の枠からお選びください。

5 その他

- ・本研修会参加に関わる旅費や宿泊費等のキャンセル料につきましては、本会にて負担いたしません。
- ・参加のキャンセルは 2/9(月) までは「参加費全額ご返金」にて対応いたしますが、2/10(火)以降のキャンセルにつきましては、システムの都合上、ご返金できませんのでご了承ください。
- ・お申し込み時にご登録いただくメールアドレスについては、学校のアドレスなど同じもので複数の方が申し込まれると全員の方に情報をお送りすることができません。お申し込みに際しては、必ず個人所有のアドレスをご入力ください。
- ※携帯キャリアや自治体発行のアドレスはメールが届かないことがあります。
- ・対面での参加に必要な情報やオンライン視聴に必要な情報等は「ご登録いただいたメールアドレス」にお送りいたします。（研修会当日 2 日前を目途）
- ・ご不明なことがございましたら、本校ホームページ内「教育研究」>「研究案内」の「問い合わせ先」までご連絡ください。
- ・来年度の研究発表会は、6 月 13 日(土)、14 日(日)を予定しております。

■日程

対 面

8:30	9:00	9:15	10:00	10:45	11:15	12:00	13:30	16:00
受付		公開授業	授業協議	公開授業(提案授業)	昼食・休憩	研 修		
		1 日目：19 本 2 日目：17 本		1 日目：6 本 2 日目：6 本		1 日目：算数、音楽、家庭科、社会、体育、保健 2 日目：国語、理科、総合、道徳、図工、外国語		

オンライン

9:00	9:15	10:00	10:45	11:15	12:00	13:30	16:00
Zoom入室	公開授業	授業協議	公開授業(提案授業)	昼食・休憩	研 修		
	1 日目：4 本 2 日目：4 本		1 日目：2 本 2 日目：2 本		1 日目：算数、音楽、家庭科 2 日目：国語、理科		

筑波発・月刊誌『教育研究』

現代的課題、教育の本質を語り合う月刊誌

《令和8年度 特集題（予定）》

- 4月号 ネクスト GIGAの可能性
- 5月号 「子どもを大切にする」をひもとく
- 6月号 一斉授業で身につく指導力
- 7月号 みんなで学ぶ意味 ひとりで追究する意義
- 8月号 「中核的な概念」に迫る
- 9月号 「できる」の価値
- 10月号 子どもが当事者になる授業
- 11月号 探究心を育てる
- 12月号 誰にでもできる授業の是非を問う
- 1月号 総合と学級経営のクロスポイント
- 2月号 初等教育 現在の到達点と未来
- 3月号 就学前教育と中等教育との接続・連携



B5版 毎月12日発売 定価950円（年間購読の場合11,400円。特典あり）送料無料
申込先 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1 筑波大学附属小学校内 初等教育研究会 TEL03-3946-2014

学習公開・初等教育研修会

学びの本質に立ち返り、
生きた授業づくりを模索する研修会

対面・オンライン開催

事前申込制



～ ご挨拶 ～

初等教育研修会は、明治の時代からの長い歴史に支えられて開催してきた会です。全国訓導協議会にはじまり、初等教育協議会、初等教育シンポジウムと時の流れに沿って形式や名称を変えて、現在の初等教育研修会として今日に至っております。この間、一貫して先進的でしかも本質的な初等教育の理論と実践の開発を目指し、すぐれた研究者・実践家をひろく全国に求め、一堂に会して真剣な討議がかわされる場を設定してきました。こうした歴史的な経緯の上に立ちつつ、グローバル化や情報通信技術の進展、少子高齢化問題など、社会情勢がまた一つ教育の在り方に大きな変革を求めていると感じています。

一方では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」などの文言に対して、現場の私たちがどう具体化していくのか、などという課題も視野に入れる必要があるでしょう。このような状況の中で、教育界は何を考え、どこに進むべきなのかを見定めなければなりません。

私たちは、本研修会を通して教育の原点に立ち返り、各教科・領域における課題や問題点を見つめ直し、新たな一歩を踏み出そうと考えています。授業における具体的な子どもの姿を通して、参加される皆様と学び合える会にしたいと思います。ぜひご参加ください。

2026

2/14・15
(土) (日)

9:00

▼
16:00



筑波大学附属小学校 一般社団法人 初等教育研究会
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1 TEL：03-3946-2014
<https://www.elementary-s.tsukuba.ac.jp/>

学習公開・初等教育研修会 学習日程表

※内容等は現時点のもので、変更する場合がございます

第1日目 2月14日(土)

公開授業

9:15～10:00(協議会10:00～10:45)

対 面

学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者
1	①	算数	ひき算の活用 ーひき算の性質の探究ー	盛山 隆雄
	②			
	③	STEM・総合 (生活)	1年生の哲学対話	粕谷 昌良
	④	体育	体づくり運動	平川 譲
2	①	国語	探究型国語授業 ー「スーホの白い馬」ー	溝越 勇太
	②	STEM・総合 (生活)	生きものとなかよし	辻 健
	③	道徳	おりがみ名人 ー努力と強い意志ー	加藤 宣行
	④			
3	①	社会	ポジショナリティーの問題に迫る学びを ー市のうつりかわりー	藤田 大輔
	②	図工	1枚の絵に入りこもう！	笠 雷太
	③	算数	かけ算の活用 「探究的な学び」を創るために	森本 隆史
	④	理科	物と重さ	富田 瑞枝

対 面
オンライン

学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者
5	②	算数	比べ方を考えよう(割合) ー日常生活の割合の探究・活用ー	田中 英海

オンライン

学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者
5	③	国語	読後感から問いづくりへ 「大造じいさんとがん」	弥延 浩史
1	①	STEM・総合 (生活)	株式会社1部1年のお仕事「いただきます！」 ー畑で学ぶ経済と食ー	白坂 洋一

対 面

学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者
4	①			
	②	図工	「モノ」の顔、「シン」発見！	朝野 祥子
	③			
	④	算数	「割合(単位分数倍)」 ー「同じ(割合)」の意味の探究ー	大野 桂
5	①	理科	物の溶け方	志田 正訓
	②			
	③	外国語	Who is your hero ?	黒木 愛
	④			
6	①	社会	絵日記の中の戦争	鈴木 遼輔
	②	音楽	歌詞と自分を重ねて歌おう 合唱「地球星歌」曲/詞ミマス	笠原 壮史
	③	体育	シンクロパフォーマンス	齋藤 直人
	④	算数	数学への架け橋	中田 寿幸

対 面

学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者
3	④	国語	子どものつばやきでつなぐ 「おにたのぼうし」	迎 有果

公開授業(提案授業)

11:15～12:00

対 面	学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者	学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者
	4	①	社会	自然災害からくらしを守る	由井 蘭 健	3	④	体育	マット運動・長なわとび	眞榮里耕太
	2	④	音楽	「体を動かす活動」を鑑賞授業に生かす	高倉 弘光	6	④	保健	「いのちの授業」から考える健康	大城めぐみ
対 面 オンライン	学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者	学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者
	5	④	算数	比べ方を考えよう(異種) ～「そろえる」見方・考え方で活用～	青山 尚司	5	③	家庭	食とウェルビーイングの いい関係	横山みどり

研修(1日目)		13:30～16:00									
算数科(対面・オンライン) テーマ 適用や活用を問い直す ～子どもを探究的な学びへ導くために～ 発表者 池田敏和(横浜国立大学) 清野辰彦(東京学芸大学) 盛山隆雄						社会科(対面) テーマ 「心が動く」からはじまる社会科授業 ～「主体的・対話的で深い学び」の実装に向けて～ 講師 藤井千春(早稲田大学) 発表者 宗實直樹(関西学院初等部) 由井蘭健					
音楽科(対面・オンライン) テーマ 次代の音楽科の授業を展望する ～これまでの10年とこれからの10年を中心に据えて～ 講師 津田正之(国立音楽大学) 発表者 高倉弘光 笠原壮史 平野次郎						体育科(対面) テーマ 新学習指導要領へ現場からの提言 ～個別最適について考える～ 発表者 長坂祐哉(東京学芸大学附属世田谷小学校) 逸見淳一(西東京市立田無小学校) 眞榮里耕太					
家庭科(対面・オンライン) テーマ 「食」をとおしてみる Well-being トークゲスト 橘晃嗣(公財)安藤スポーツ・食文化振興財団) 佐野こころ(株式会社「食のおくすり」代表取締役) 発表者 横山みどり						保健(対面) テーマ カリキュラム・マネジメントの視点で 児童の学びを学校保健に生かす試み 講師 神田奈津子(名桜大学) 発表者 島袋久良々(那覇市立那覇小学校) 大城めぐみ					

第2日目 2月15日(日)

公開授業

9:15～10:00(協議会10:00～10:45)

対 面

学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者
1	①			
	②	STEM+総合(生活)	生活科×金融リテラシーからつなぐー「ありがとう」がいっぱいー	藤田 大輔
	③			
	④	STEM+総合(生活)	身近な物で作って遊ぼう	富田 瑞枝
2	①			
	②			
	③			
	④	体育	長縄・マット	山崎 和人
3	①			
	②	理科	じしゃく～身近な物に新たな発見を～	鷲見 辰美
	③	算数	円の活用 全員参加の授業をめざす	森本 隆史
	④	国語	子どものつばやきでつなぐ「おにたのぼうし」	迎 有果

対 面
オンライン

学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者
5	③	国語	作品のテーマを読み解く「大造じいさんとがん」	弥延 浩史

オンライン

学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者
2	④	算数(ICT)	はこの形 ～新指導要領に向けた単元提案/統合的な理解と総合的な発揮を目指して～	田中 英海
5	③	STEM+総合	コンサートを届けよう 卒業記念コンサート会議	笠原 壮史

対 面

学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者
4	①			
	②	国語	問いを紡ぎ、読みを深める「ごんぎつね」	櫛谷 孝徳
	③	道徳	雨のバスでいりゅう所でー規則の尊重ー	長岡かの子
	④	算数	ともなって変わる量ーきまりの根拠の探究ー	大野 桂
5	①	体育	なわとび・ボール運動	平川 譲
	②	社会	「心が動く」学習問題づくりシン・田中正造	粕谷 昌良
	③			
	④	算数	比べ方を考えよう(同種)～「1とみる」見方・考え方で適用～	青山 尚司
6	①	音楽	アンサンブルを楽しむL-O-V-E(器楽)	平野 次郎
	②	算数	面積の活用と探究ー正方形の一边の表し方ー	盛山 隆雄
	③	図工	遠い場所から届いた素材	笠 雷太
	④	保健	いのちの授業～人の死の判定～	佐々木昭弘

対 面

学年	部	教科等	単元・題材・主題名	授業者
2	①	STEM+国語	探究型国語授業ー「スイミー」ー	溝越 勇太

公開授業(提案授業)			11:15~12:00									
対 面	学年	部	教科等	単元・題材・主題名		授業者	学年	部	教科等	単元・題材・主題名		授業者
	2	③	道徳	ぐみの木と小鳥 ー親切、思いやりー		加藤 宣行	3	①	図工	材料に親しみ、知り、表す		北川 智久
	6	①	STEM+ 総合	1部6年 つくばっ子ムービーフェスティバル		鈴木 遼輔	6	③	外国語	Over the Wall 心の翼で世界を見よう		黒木 愛
対 面 オンライン	学年	部	教科等	単元・題材・主題名		授業者	学年	部	教科等	単元・題材・主題名		授業者
	1	①	国語	リフレクション型国語科授業 ー物語「お手紙」ー		白坂 洋一	4	③	理科	水のすがたをとらえるために		辻 健

研修(2日目)		13:30～16:00									
国語科(対面・オンライン) テーマ 学習者の「問い」を授業に生かす ー国語科における探究的な学びの創造ー 登壇者 奈須正裕(上智大学) 山元隆春(広島大学) 小泉芳男(広島市立袋町小学校) 白坂洋一						道徳科(対面) テーマ 臨機応変の力を発揮して、子どもとともに一期一会の 道徳授業をつくる 講師 毛内嘉威(秋田公立美術大学 副学長) 発表者 加藤宣行 長岡かの子					
理科(対面・オンライン) テーマ 新たな価値をともにつくる理科授業 講師 有本淳(文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官) 発表者 江口活(北九州市立木屋瀬小学校) 辻健 鷲見辰美 佐々木昭弘 志田正訓 富田瑞枝						図画工作科(対面) テーマ 「素材」が、その子の「材料」になるとき 発表者 斉藤洋介(横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校) 吉田健祐(中野区立美鳩小学校)					
STEM+総合活動(対面) テーマ 子どもの「こだわり」を生かした「STEM+総合活動」 ～多様な違いを「吟味」し「探究」する子どもを育む～ 講師 藤井千春(早稲田大学) 発表者 鈴木遼輔 笠原壮史						外国語活動・外国語科(対面) テーマ 「言語活動を通して」の学びを再考する 講師 早川優子(文部科学省初等中等教育局 教育課程課 外国語教育推進室 教科調査官) 発表者 俣野知里(京都市立梅津小学校) 黒木愛					